

公表

## 事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	こども発達支援たんたん			
○保護者評価実施期間	2025/11/10		～	2025/12/26
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)	8名
○従業者評価実施期間	2025/11/10		～	2025/12/26
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026/1/28			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に 行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1 専門職による支援		公認心理師、言語聴覚士、精神保健福祉士、社会福祉士など専門職による個別支援などに対応している。	個別支援計画を基に専門的支援計画を作成し、利用児及びご家族の要望に沿った支援に取り組んでいく。
2 支援プログラムの形成		発達段階に応じた個別支援（学習・トレーニング）を主にしている。また、集団活動では、運動やゲーム、創作活動などを通してルールやコミュニケーションスキルの習得に積極的に取り組んでいる。	こども同士の関わりのなかで、こども自身の自主性・主体性が導き出せるような支援を行っていく。
3 保護者支援及び関係機関連携		保護者からの相談（生活上や園などでの困り感）に応じ、問題解決や改善策に積極的に取り組んでいる。 生活上での、困り感や保護者の不安・心配が出てきた場合には、関係機関等と緊密に連携を図り、その改善策に取り組むことを進めている。 また、年長児は特に就学に向けて園との連携を図り、スムーズな就学の移行を目指している	引き続き、保護者のニーズに応えていくよう、関係機関との連携を緊密に図っていく。 また、保護者の不安や悩みに寄り添った支援を提供し、安心していただけるよう努める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組 や工夫が必要な点等
1 保護者同士で交流する機会		現在は、保護者同士の交流は行っていないが、交流を望んでいる少数意見もある。	今後、同学年や学年の近い保護者同士の交流の機会や、保護者を対象とした家族教室や、ペアレントトレーニングの開催を検討する。
2 発達支援室等のスペース		開設基準は満たしているが、利用者の多くは男の子であり、活発な利用者もいる。壁・柱やガラスなど危険と判断する場所は、ケガや事故につながらないよう配慮して、支援を行う。	事業所内は限られたスペースのため、集団活動での運動遊びやゲームは、スペースに見合った活動を行う。
3 地域に開かれた事業運営		隣接は、商用施設やアパートであり、特に何も行っていない。	町内のイベントや町内役員との接点も無いため、今後検討していくことが必要と考えているも必要と考える。

	公表	護者等からの事業所評価の集計結果（児童発達支援）
--	----	--------------------------

事業所名	こども発達支援たんたん						公表日	令和 8 年 1 月 2 8 日	
							利用児童数	10名（令和 7 年 11 月 1日現在）	回収数 80%
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3	5			・もう少し広く動けるといいなと思います。	・人数が増えて手狭になったため広い建物に移転しました。広さが倍くらいになったので、広々と使っていただけたと思います。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	5	1		2			
	3	生活空間は、こどもにわかちやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6	2					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7	1					
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8				・適切な支援をしてくださっていると感じます。	・ありがとうございます。今後もより良い支援ができるよう研修などを行っています。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8						
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8						
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8						
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7			1			
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	2	1	2			
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8						
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7			1			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	8						
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	1		1			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7	1					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	3	2	1	・面談で子の様子を教えていただいたり、助言していただいたり、ありがたいです。	・昨年、保護者の方と茶話会を行いました。今年も行っていく予定です。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8						
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8						
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	6			2	・ホームページは、あまり見ていなくてわからなくてすみません。	・Instagramを行っていることの周知が足りませんでした。 ・Instagramやホームページの更新が心掛けていきたいと思います。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7	1					
非	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	1		3	・訓練があるといいなと思います。	・冬季の避難訓練を予定しています。実施の様子をHUGやInstagramなどでお知らせいたします。	

非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3			5		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6			2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6			2		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	8				・ 家、園以外で安心していられる居場所があるのは、すごくありがたいと思ってます。	・ ありがとうございます。私たちも第3の居場所になれるよう今後も精進してまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	8				・ 行かない日には、「毎日行きたい」と言うほど楽しみにしています。	・ ありがとうございます。楽しく通えるよう工夫をしておますが、今後も支援の向上をしてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	8				・ 教育時間を長くできませんか。 ・ 毎回たんたんに行くことを楽しみにしています。帰宅後もプリントを見ながら、その日あったことを楽しそうに話してくれます。いつもありがとうございます。	・ 給食開始時間の関係があり、支援時間を伸ばすことができずに申し訳ありません。短い時間でも内容を充実させてまいります。

公表

業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名		こども発達支援たんたん		公表日			令和 8 年 1 月 2 8 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1		・旧事業所は人数の増加の伴い手狭になったため、現在の事業所に移転を行った。十分なスペースが確保でき、個室も取ることができた。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2		・配置基準は満たしているが、児童に対する療育や機能訓練等を進めていくうえで、職員の強化を図れると良い。 ・今後、利用者の増加に合わせて職員も増やす必要があると感じる。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	・視覚支援を行い、支援空間はわかりやすくしている。 ・部屋ごとに名前をつけて、わかりやすくしている。 ・掲示物は精選し、過剰な刺激となることを防いでいる。 ・バリアフリー化はされているが、現在利用が必要な利用対はいない。 ・どの順序で移動すれば良いのか、床に矢印などの視覚支援を行っている。	・吹き抜けになっているので、声が響きやすい。聴覚過敏な利用者への配慮や工夫が必要と思われる。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	3	・活動スペースにはクッションマットをひき、転倒時などの怪我防止を行っている。 ・おもちゃなど頻回に触る物は、定期的に消毒を行っている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・個別支援は個室で行っている。 ・クールダウンが必要な場合の部屋も用意している。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	3	・朝礼や必要に応じて、ミーティングを行っている。 ・サービス提供記録を作成しながら共有を図っている。相談支援専門員や保護者との面談時の様子も共有している。	・さらなる目標の明確化と共有化が必要と思われる。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2	・年1回の保護者向けの自己評価表の実施や数か月ごとの面談で業務改善につなげている。	・評価をより具体化する必要がある。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	・不定期に面談を実施し、業務改善を行っている。 ・水曜日に全体会議を実施し、意見を求めている。	・より風通しの良い職場環境を目指したい。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4		・第三者による評価を実施したい。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・支援ミーティングを行い、支援していく上での問題点や検討事項等の話し合いを行っている。 ・社内外の研修に参加できる機会の設定し、より質の高い療育支援の提供を目指している。 ・定期的に職員が交代で講師となり、ミニ講座を行っている。 ・書籍等を購入し、自己研鑽ができる環境を作っている。	・職員が希望する研修に参加できるよう時間の確保を行っていきたい。 ・外部講師を招いての研修も考えていきたい。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1	・ガイドラインの発達の5領域を意識した上で作成し、ホームページで公表を行っている。	・ホームページで公表していることをもう少しわかりやすくしたい。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		・保護者と本人だけでなく、必要に応じて園や相談支援事業所など関係機関とも連携しながら作成している。			

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・児童発達支援管理責任者と実際に支援や指導をした職員の共通理解のもと、子どもの発達段階に合わせた討論が行われている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・定期的に支援会議を開催し、支援計画に沿った支援が実施できるよう検討している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2	・アセスメントツールやテキスト等を参考にしたり、機能訓練担当職員による専門的なアセスメントにより、実施している。	・今後も引き続き、よりよい支援が出来るようツール等の検討をしていきたいと考えている。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・子どもを社会の中で生活する本人と捉え、必要な項目が網羅されるよう支援内容を考えている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・児童指導員、機能訓練担当職員がチームとなり、各職員の得意分野を活かしながらプログラムを構成している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	・児童の発達状況に合わせて、自立課題、運動課題などいろいろな活動を提案し、組み合わせることで、同じ活動が続かないように工夫している。 ・プログラムを考える支援員が固定化してのように順番に行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		・児童が集中して取り組めるよう短時間でのプログラム編成とし、その中に個別と集団のどちらも取り入れている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・毎日、支援ミーティングを行い、その日の支援内容の共有化を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2		・定期的な振り返りができていない。 振り返りの時間を確保し、気付いた点などを共有化を図る。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・日々の記録はHUGシステムを活用している。一人一台のパソコンを配置することによって、記録の共有化、実施支援の共有、検討を行うことができている。 ・また、過去の記録も一覧として見ることができるので、成長や支援課題の把握に役立てている。	
関係機関	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1	・支援計画に沿ってモニタリングを行い、それを元に個別支援会議を開催し、計画の見直し等を行っている。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・必要に応じて児童発達支援管理責任者、管理者、担当者が出席している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2	・必要に応じて保育園と情報共有を行い、支援についての意見交換を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルーシブ推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		・就学支援シートを用いて、情報共有を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2	・入学支援ファイルの支援情報提供書を保護者にお渡ししている。	・保護者や相談支援事業所等へ確認し、必要に応じて情報共有を行っている。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				

関 や 保 護 者 と の 連 携	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	5		・なかなか支援センターとの連携ができていない。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		・こども園との交流はできていないが、地域への外出支援を定期的に行って、地域にあるいーてらす、マリンピア、いくとぴあ等を訪問している。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・送迎時やシステム（HUG）を利用し、利用日には保護者へ活動内容について発信している。また、必要に応じて、電話や面談等で共通理解を図っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	・保護者との茶話会を開催する。	・家族心理教育ができるスタッフがいますので、開催していきたい。
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・契約時に説明を実施したり、不明な点については随時、説明するようにしている。また、支援内容については、保護者と話す機会を設けたり、システム（HUG）等を活用し連絡している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・保護者の意向やニーズはもちろん、こどもの気持ちや意思も尊重し、それぞれの子どもにとって最適な支援計画	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		・児童発達支援計画に基づいた支援内容を説明し、発達段階に合わせた支援計画に同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	2	・定期的に面談を設けている。保護者から相談のあった場合には、適宜、対応し、相談内容に応じて相談日を設けたりなどしている。また、職員間で情報共有を行い、検討して適切に対応している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3	・保護者との茶話会を開催し、保護者同士が交流する機会としている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・相談や申し入れがあった際は、職員同士で共有し、話し合いのもと迅速に対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		・定期的な通信は発行していないが、支援システム（HUG）やインスタグラム、ホームページなどにより発信して	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・個人情報の取り扱いについては、会議等を通じて職員へ周知している。 ・個人情報が記載された書類等については、鍵付きキャビネットに保管するなど、取り扱いには十分注意している。 ・個人情報が含まれる文書等は必ずシュレッダーで破棄している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・児童や保護者に合わせて、写真やイラスト等を使って、わかりやすく説明するよう工夫したり、理解してもらえたか、など確認しながら意思の疎通を図っている。 ・視覚支援教材を使用している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		・特に行っていない。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・事故防止マニュアルや緊急時対応マニュアル、感染症マニュアルは揃っており、保護者に周知できるようにして	・見える位置には置いてあるが、わかりにくいかもしれない。

非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・業務継続計画（BCP）を策定し、避難訓練を実施した。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		・保護者が記載するシートにより把握している。また、必要に応じて聞き取りを行っている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		・受け入れる場合は、アセスメントでアレルギーの有無を確認している。必要ならば医師の指示書等をもとに保護者と相談しながら支援を行うが、現在そのような利用者がいない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		・日々の支援の中で安全管理、危機管理については職員間で連携を取り、必要な措置を講じている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	・子どもの安全確保のため、どのような際にやむを得ず身体拘束を行うかなどについて、保護者に十分説明し了解を得ている。	・周知が足りないと感じる。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・その都度、ヒヤリハットを共有して検証し、改善策まで取り組んでいる。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・定期的に行われる会議の中に研修の時間を確保し、職員研修会を開催し、共有している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		・身体拘束について契約時に丁寧に説明し、身体拘束が必要な場合は、同意を得て行う。が、まだそのような場面がない。	